



株式会社タツミ製作所

創業から50年
豊富な設備と切削技術
多品種少量生産対応可能



みどり市

住所 みどり市大間々町大間々 379-4
TEL 0277-73-5191
Mail tatumiss@sunfield.ne.jp
URL https://tatumi-ss.co.jp/
代表者 赤石 康生
設立 1979年7月1日
資本金 1,000万円
従業員 15人



企業紹介

当社は、産業用関連部品の金属加工を得意としている『ものづくり』の会社です。マシニングセンタとNC旋盤の豊富な設備による、加工機ごとの特徴を生かした生産が強みです。現在は、高度な技術が必要な多品種少量生産に力を入れております。自動車部品製造で培った経験も生かしながら、多様化するニーズに合わせた生産が可能になりました。「蒟蒻でさえ精度を出す」というキャッチフレーズ、気になりませんか？



経緯・背景

きっかけは、作業をスムーズに行うための、ちょっとした気づきから始まりました。改善したい提案の中で、使用工具の管理方法・過剰在庫の見直し・照明のLED化・機械備品の整備ほか、多種多様な意見がありました。少しずつ取り組み始めたときに、SDGsのことを知りました。セミナーに参加し社内でもSDGsを勉強するうちに、私たちが社会の一員として貢献したいという気持ちがかんたん大きくなりました。皆が安心して生活できるよう、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

生産工程で環境に配慮 DX化で属人的負担を軽減 若年層への地域貢献

具体的な取組・成果

1. 環境に配慮したものづくり

私たちは生産工程において、どのくらいエネルギーを使い、どのくらいCO2を排出しているのだろうか？また、当社でもできる温暖化対策はあるのか？当社が環境に配慮した製品を送り出すことでお客様をはじめ広く社会の役に立つのか？SDGsに出会うまでは考えてもみなかったことです。SDGsの取組がきっかけで省エネ診断を受けました。診断の結果、コンプレッサーは必要以上に働いていました。また、工場内のエアリークも多岐にわたりました。コンプレッサーの改善を行うことは、エネルギー改善につながるようになりました。私たちが理解をし、実践することで、社内の改善だけでなく、お客様の手にわたる製品が今までより環境負荷の少ないカーボンニュートラルに寄与した製品として届けられることにつながります。



省エネ診断で、エネルギー使用改善へ

2. DX化推進による職場改善



工具をデジタル管理

昨今は、若者の製造業離れや、離職者が増加する傾向にあります。いくらITやIoTが進化したとしても作業がゼロになることは考えられません。私たちは作業ゼロは目指していません。でも、現場作業の負担の軽減や作業自体の負担削減は目指すべきことと考えています。そのため最新

設備の導入、CAD・CAMの活用、工具のデジタル管理、在庫管理によるデータ化いわゆるDX化を進めることです。従来からの「匠の技術」を生かしながらも、属人化による負担を軽減していきます。同時に新しい仲間も受け入れやすい職場環境を整え、それぞれの人の得意を伸ばし、苦手を補完し合える、誇り高さ技術集団を目指します。

3. 地域貢献

地元高校生のインターンシップの受け入れをしています。自分たちの住む（通う）地域にどんな企業があり、どんなものが作られているのかを知ることで地元愛が生まれ、地元で活躍をしてもらえる若者の増加につながると考えています。

また、私たちの掲げているSDGs宣言書には2030年に向けた目標が設定されています。その1つに「売上を上げて利益の5%を経済や社会貢献に充てる」ことを掲げています。その取組の一つとして、みどり市内で運営・活動している「子育て支援ボランティア“とまり木”」に賛同し協賛しています。参加した高校生の美術作品



当社にとってのSDGsビジョン

私たち（株）タツミ製作所は
「ずっと働ける、働きやすい職場」
「資源の無駄使いを減らそう」
「地域と共に活性化に取り組み、地元へ愛される企業」
を目指し、SDGsの目標達成のために貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

SDGsの理念に賛同し、推進しているあらゆる方と持続可能なものづくりをワクワク感を持って取り組んでいきたいです。お互いの得意を生かし、課題解決に向け一緒に挑戦してくれる仲間を増やしたいです。